

第336回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成29年3月27日(月)午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 9人 出席委員 9人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
山本 健一	委員	春日 貴光	委員
碓井 真史	委員	原田 健一	委員
大久保千春	委員	田村 明子	委員
尾畑留美子	委員		

会社側出席者

代表取締役会長	室川 治久
代表取締役社長	務台 昭彦
常務取締役 編成担当	須佐 博樹
取締役報道制作局長	平野 真一
執行役員編成局長兼番組審議会事務局長	稲田 裕之
報道制作局制作部長	羽田 朗
報道制作局 合評番組プロデューサー	鈴木 英門
事務局	山崎 学
	水野 明子
	吉田康宏

4 議 題

1) 番組合評

「新潟×長野 一番G e t ! ケンミン生投票

信越ながら…ゴールデンやっちゃいます！！」

〔放送：平成 29 年 3 月 3 日（金）18:40-19:56〕

（説明：番組プロデューサー 鈴木英門）

2) 会社報告

① 2 月の視聴者の意見（報告：番組審議会事務局）

② 講じた措置、公表など定例報告等（報告：番組審議会事務局）

3) その他

5 審議の概要

通例だと会社側合評番組担当者より番組説明から議事を進行するが、今回は委員長の意向により委員の意見を先とする議事進行となった。

（委員の意見）

- 家族みんなで楽しめる番組であった。視聴者参加生投票という仕掛けも良かった。
- 堀・伊東両アナウンサーのコーナーがほっこりしていて良かった。このコーナーがあったから長時間の番組として成立したのかなと思う。安定感があった。
- お互いの地域の再発見という点では内容が薄かった。新しいものを伝えきれてなく、もっと情報を深めて伝えて欲しかった。
- 東京のアンテナショップは店内映像も必要ではないか。

- 画面に文字が多すぎると感じた。面白くないものを文字でごまかしていると勘繰りたくなるほどの文字数と大きさだった。
- 新潟と長野、地域と地域をつなげるというコンセプト・企画は良かった。
- 子供対決やグルメ対決も同じタレントがコーナーを受け持った方が良かったのではないか。
- 登場人物が子供から老人と幅広く、あらゆる層に見てもらえる番組だった。
- 対決感・勝負感がなかった。音楽とスポーツを対決させていたが、対決として成立してなかったのではないか。
- 見ていて飽きない番組だった。明るく、健康的でリズム感のある、放送時間帯として良い構成だった。

(会社側の感想)

お互い20年歴史のある当社とテレビ信州の看板番組をひとつの番組として組んだ初めてのケースだったが、お互いの番組制作手法が違っていて難しかった。視聴者生投票を実施したことは成功したと思っている。対決に関してはルールなど、どの位の加減で番組を成立させたらよいか難しかった。

委員の意見を参考に今後も番組制作に取り組んでいく、という説明と感想があった。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

2月 …… 101件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成29年2月27日)から、昨日(平成29年3月26日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

- 7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置
- 1) 前回第335回審議会では、「糸魚川大火の警鐘 ～あれから1か月 復興への針路～」を審議いただきました。
委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。
 - 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。
- 8 今回の第336回放送番組審議会の公表
- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
 - 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
 - 3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。
- 9 参考事項(委員への配布資料)
- ・2月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
 - ・民間放送新聞(3/3、13、23号)
 - ・BPO報告 NO.172

以上